RICOH

RICOH MP 1601/MP 1301シリーズ

使用説明書
〈用紙の仕様とセット方法〉

安全に正しくお使いいただくために、操作の前には必ず『はじめにお読みください』「安全上のご注意」をお読みください。

目次

1. 原稿をセットする

セットできる原稿の種類とセット方法を説明します。

セットできる原稿サイズと紙厚

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）にセットできる原稿のサイズと紙厚について説明します。

原稿セット先	原稿サイズ	原稿紙厚
原稿ガラス	A3□（297×420mm）、11×17□（279×432mm）まで	-
自動原稿送り装置（ADF）（片面）	A3□～B6□□、11×17□～$8^1/_2$×11□□	40～128g/m^2（35～110kg）
自動原稿送り装置（ADF）（両面）	A3□～A5□□、11×17□～$8^1/_2$×11□□	52～105g/m^2（45～90kg）
自動原稿送り装置（ADF）（サイズ混載）	A3□、B4□、A4□□、B5□□、11×17□、$8^1/_2$×11□□	52～81g/m^2（45～70kg）

補足

- 自動原稿送り装置（ADF）にセットできる枚数は、「マイペーパー」のとき、約 120 枚です。

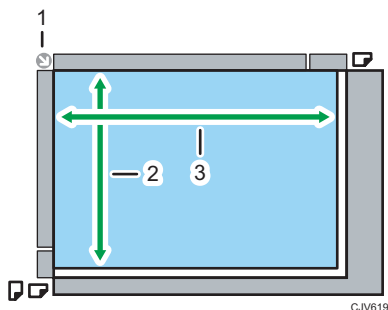
最大読み取り範囲

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）にセットした原稿の読み取り範囲について説明します。

原稿ガラスにセットしているとき

原稿を原稿ガラスにセットしたときの最大読み取り範囲について説明します。

1

原稿ガラスにセットしたときの最大読み取り範囲

1. **セット基準**
2. **縦の長さ**

   297mm

3. **横の長さ**

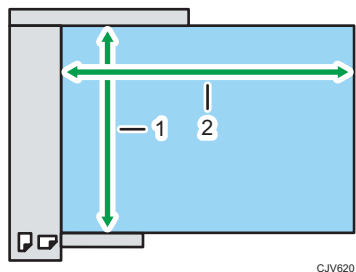
   432mm

原稿ガラスにセットできる最大定形サイズ

A3、11×17

自動原稿送り装置（ADF）にセットしているとき

原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットしたときの最大読み取り範囲について説明します。

自動原稿送り装置（ADF）にセットしたときの最大読み取り範囲

1. **縦の長さ**

   297mm

2. **横の長さ**

   - コピー機能のとき

     1260mm

   - スキャナー機能のとき

     432mm

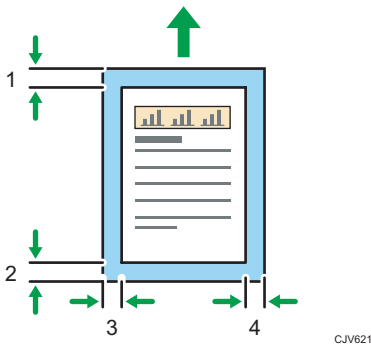
   - ファクス機能のとき

1200mm

自動原稿送り装置（ADF）にセットできる最大定形サイズ

A3□、11×17□

画像欠け範囲

原稿ガラスまたは自動原稿送り装置（ADF）に正しくセットしても、原稿の周囲から内側数 mm は印刷されないことがあります。

1. 先端：3±2mm
2. 後端：3±2mm（両面印刷時の偶数ページは 4.2±2mm）
3. 左：2±1.5mm
4. 右：2 +2.5/-1.5mm

自動的に検知される原稿サイズ

自動的に検知される原稿サイズは下記のとおりです。

原稿セット先	A3▭	B4▭	A4▯▭	B5▯▭	A5▯	A5▭	B6▯▭	11×17▭	$8\frac{1}{2}$×11▯▭
原稿ガラス	○	○	○*1	○	○	×*2	×	×	×*1
自動原稿送り装置（ADF）	○	○	○	○	○	○	○*3	○*4	○

○は、原稿サイズが自動的に検知されることを表します。

×は、自動的に検知されないことを表します。

*1 A4▯の代わりに $8\frac{1}{2}$×11▯、または A4▭の代わりに $8\frac{1}{2}$×11▭を原稿ガラスで検知できるようにするには、サービス実施店に連絡してください。

*2 A5▭を原稿ガラスで検知できるようにするには、サービス実施店に連絡してください。

*3 両面原稿は使用できません。

*4 11×17▭の代わりに 11×15▭を検知できるようにするには、サービス実施店に連絡してください。

補足

- 自動検知されないサイズの原稿を自動原稿送り装置（ADF）で読み取ると、原稿とは異なる用紙サイズで読み取られます。
- 自動検知されないサイズの原稿をセットするときは、原稿のサイズを設定してください。サイズを設定しないと画像が欠けることや正しく出力されないことがあります。設定方法は、『コピー/ドキュメントボックス』「原稿のサイズを指定する」、『ファクス』「読み取りサイズを設定する」、『スキャナー』「読み取りサイズ」を参照してください。

サイズを読み取りにくい原稿

次のような原稿はサイズが自動的に検知されないため、ファクスの送信先で正しいサイズの用紙が選択されないことがあります。また出力するときも正しいサイズの用紙が選択されないことがあります。

次のような原稿をセットするときは、手動で用紙サイズを選択してください。

- 付箋やインデックスなど、はみ出た部分のある原稿
- OHP フィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）のように透明度の高い原稿

- 文字や絵柄部などが多く、全体に黒っぽい原稿
- 部分的に塗りつぶされている原稿
- 周囲が塗りつぶされている原稿
- 表面がツルツルすべる原稿
- 本などの原稿を開いてセットし、厚さが 10mm 以上のとき

原稿ガラスにセットする

⚠注意

- 自動原稿送り装置（ADF）を閉めるときは、ヒンジ部や原稿ガラスに手を置かないでください。手や指を挟み、けがの原因になります。

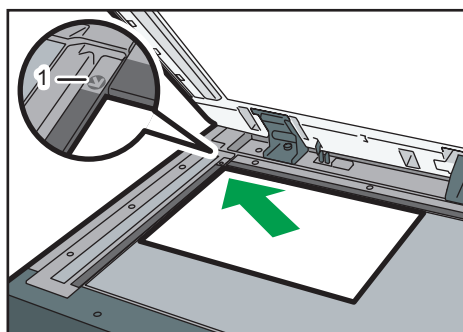
重要

- **自動原稿送り装置（ADF）は、強く跳ね上げないでください。自動原稿送り装置（ADF）のカバーが開くことや破損することがあります。**

1. 原稿カバー、または自動原稿送り装置（ADF）を上げます。

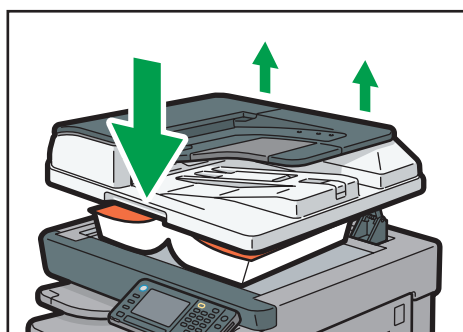
原稿カバー、または自動原稿送り装置（ADF）の開閉で原稿サイズが読み取られます。30 度以上の角度で確実に開いてください。

2. 読み取る面を下にし、左奥のセット基準に原稿を合わせてセットします。

原稿は先頭ページから順にセットします。

1. セット基準

3. 原稿カバー、または自動原稿送り装置（ADF）を閉めます。

補足

- 厚みのある本や立体物を原稿ガラスの上にセットして自動原稿送り装置（ADF）を閉めると、自動原稿送り装置（ADF）の奥側が原稿の厚みに応じて持ち上がります。自動原稿送り装置（ADF）の奥側に手を入れたまま、自動原稿送り装置（ADF）を閉めないでください。

CSN002

- 修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿はセットしないでください。原稿ガラスが汚れ、その汚れが読み取られます。
- 原稿サイズを指定する方法は、『コピー/ドキュメントボックス』「原稿のサイズを指定する」、『ファクス』「読み取りサイズを設定する」、『スキャナー』「読み取りサイズ」を参照してください。
- セットできる原稿サイズについては、P.3「セットできる原稿サイズと紙厚」を参照してください。

原稿忘れ検知

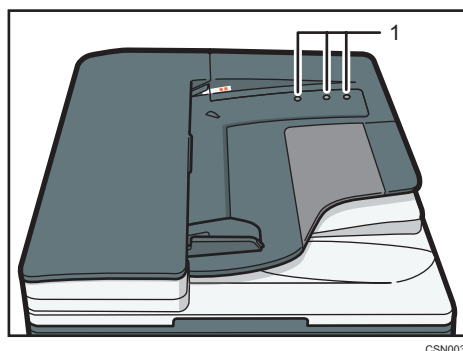
原稿ガラスに原稿をセットして読み取ったあと、セットした原稿を忘れないようにブザー音が鳴りエラーメッセージが表示されます。

ブザー音は、「ピーピーピーピーピー」と同じパターンを 4 回繰り返します。

[基本コピー設定] の [原稿忘れブザー音] で、設定を変更できます。詳しくは、『コピー/ドキュメントボックス』「基本コピー設定」を参照してください。

1

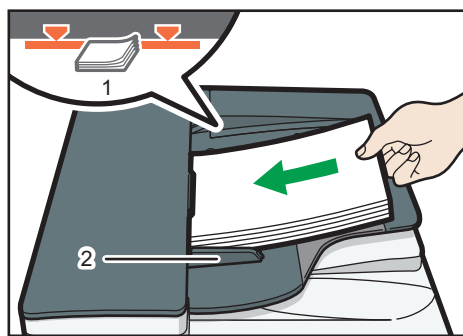
自動原稿送り装置（ADF）にセットする

自動原稿送り装置（ADF）のセンサーを手でふさいだり、原稿を浮かせたりしないでください。サイズが正しく読み取れないことや、原稿づまりのメッセージが表示されることがあります。また上カバーの上に物や原稿などを置かないでください。誤動作の原因になります。

1. センサー

1. 原稿ガイドを原稿サイズに合わせます。

2. 読み取る面を上にし、原稿をそろえて自動原稿送り装置（ADF）にまっすぐセットします。

原稿は上限表示を超えないようにセットしてください。

原稿は先頭ページを上にしてセットします。

1. 上限表示
2. 原稿ガイド

補足

- 自動原稿送り装置（ADF）でできることについては、『コピー/ドキュメントボックス』「原稿の設定」を参照してください。
- カールの大きい原稿は、矯正してからセットしてください。

- 複数枚の原稿が重なったまま一度に送られないように、原稿をパラパラとほぐしてからセットしてください。
- 修正液やインクなどが完全に乾いていない原稿はセットしないでください。読み取りガラスが汚れ、その汚れが読み取られます。
- セットできる原稿サイズについては、P.3「セットできる原稿サイズと紙厚」を参照してください。

自動原稿送り装置（ADF）にセットできない原稿

不適切な原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットすると、紙づまり、原稿破損、白すじ、黒すじの原因になることがあります。

次のような原稿は、原稿ガラスにセットしてください。

- ステープラーの針やクリップの付いた原稿
- 穴、破れのある原稿
- そり、折れ、しわのある原稿
- 貼り合わせた原稿
- 粘着テープやのりの付いた原稿
- 感熱紙、アート紙、銀紙、カーボン紙、導電性の用紙など、表面が加工された原稿
- ミシンがけ原稿
- インデックスや付箋など、はみ出た部分のある原稿
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）など、すべりにくい原稿
- 登記簿などに使用される薄くてやわらかい原稿
- 郵便はがきなどの厚い原稿
- 本などのとじてある原稿
- OHP フィルムやトレーシングペーパー（第二原図用紙）など、透明度が高い原稿

補足

- 鉛筆などで書かれた原稿はこするとかすれやすいため、自動原稿送り装置（ADF）にセットすると原稿が汚れることがあります。

2. 用紙をセットする

給紙トレイや手差しトレイに用紙をセットする方法を説明します。

用紙をセットするときの注意事項

⚠注意

- 用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

⚠注意

- 1 段給紙テーブルまたは 2 段給紙テーブルを接続している状態で、用紙を交換したり補給したりするときや、紙づまりを取り除くときは、一度に複数のトレイを開けないでください。本体上部を無理に押すなどの力が加わると、機械が倒れるおそれがあり、けがの原因になります。

★重要

- **用紙は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにセットしてください。**

補足

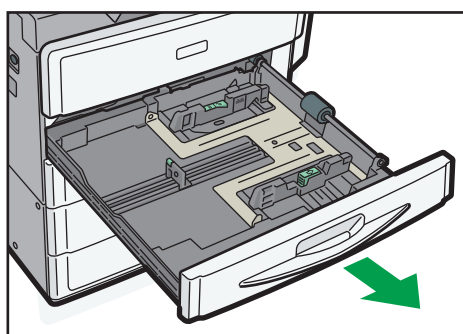
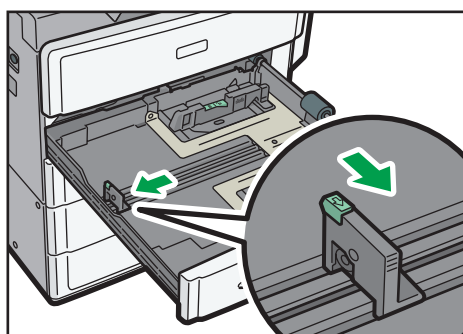
- 複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。
- トレイに少量の用紙が残っている状態で用紙を補給すると、用紙が重なって送られることがあります。トレイ内の用紙を一度取り出して、補給する用紙とともに、パラパラとほぐしてからセットし直してください。
- カールしている用紙、そりのある用紙は直してからセットしてください。
- セットできる用紙サイズ、種類は P.31「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
- まれに用紙のこすれによる異音が発生することがありますが、本機の故障ではありません。

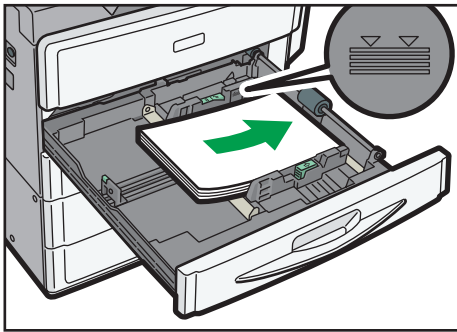
給紙トレイに用紙をセットする

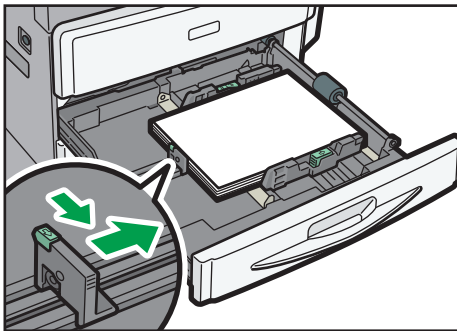
用紙のセット方法は各トレイとも同じです。ここでは、トレイ 1 に用紙をセットする方法を例に説明します。

重要

- 給紙トレイを戻すときに勢いよく押し込むと、トレイのサイドフェンスの位置がずれることがあります。
- 用紙の先端が右側にそろっていることを確認してください。
- セットした用紙の枚数が少ないときは、サイドフェンスを寄せすぎないでください。サイドフェンスを寄せすぎると、用紙の端が折れることや、用紙がつまることがあります。

1. 給紙トレイから用紙が給紙されていないことを確認し、給紙トレイをゆっくりと引き出します。

2. 解除レバーを押しながらエンドフェンスを広げます。

3. 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットします。

上限表示を超えないようにしてください。

CSN009

4. 解除レバーを押しながら、エンドフェンスをセットした用紙サイズに合わせます。

CSN010

5. 給紙トレイをゆっくりと奥まで押し込みます。

補足

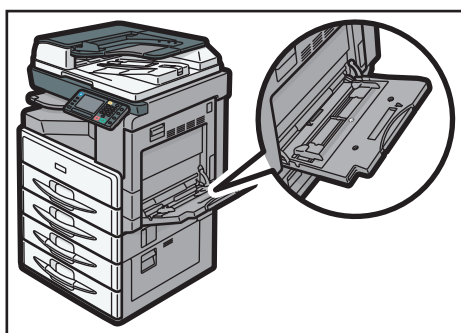
- 各給紙トレイには、サイドフェンスやエンドフェンスの位置を変更して、いろいろなサイズの用紙をセットできます。用紙サイズを変更するときは、P.26「給紙トレイの用紙サイズを変更する」を参照してください。

手差しトレイに用紙をセットする

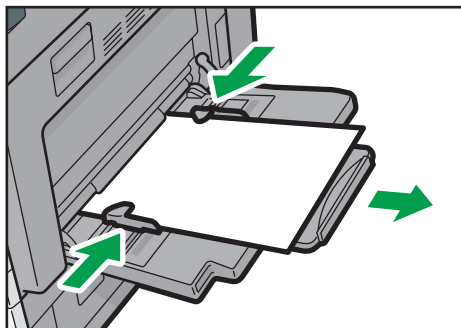
給紙トレイにセットできないサイズの用紙や、はがき、OHP フィルム、ラベル紙（ハクリ紙）などをセットできます。

重要

- 手差しトレイにセットできる枚数は用紙の種類によって異なります。用紙は、上限表示を超えないようにセットしてください。上限を超えてセットすると、斜めに印刷されたり、用紙がつまったりする原因となります。用紙種類ごとのセットできる上限枚数については、P.31「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

1. 手差しトレイを開きます。

CSN005

2. 印刷する面を下にし、「ピッ」というブザー音が鳴るまで用紙を軽く差し込みます。
3. 用紙ガイド板を用紙サイズに合わせます。

用紙ガイド板が用紙サイズに合っていないと、斜めに印刷されることや、用紙がつまることがあります。

CSN006

補足

- 手差しトレイにセットするときは、なるべく方向にセットしてください。
- 用紙の種類によっては手差しトレイに用紙をセットしても、用紙がセットされた表示にならないことがあります。そのときは用紙をセットし直してください。

- A4▭以上のサイズの用紙をセットするときは、延長トレイを引き出してください。
- 厚紙や OHP フィルムなどをセットするときは、用紙サイズと用紙種類を設定してください。
- レターヘッド紙をセットするときは、セット方向に注意してください。詳しくは、P.22「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）」を参照してください。
- 手差しトレイには、封筒やはがきをセットできます。セットするときは、正しい向きでセットしてください。詳しくは、P.36「封筒」、P.38「はがき」を参照してください。
- 自動的に読み取れないサイズの用紙をセットするときは、用紙のサイズを指定してください。手差しトレイで自動的に読み取れるサイズは、P.31「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。用紙のサイズを指定する方法は、P.17「プリンター機能で手差しトレイを使用する」、または『コピー/ドキュメントボックス』「手差しトレイからコピーする」を参照してください。
- 手差しトレイを使用してコピーするときは、『コピー/ドキュメントボックス』「手差しトレイからコピーする」を参照してください。パソコンから印刷するときは、P.17「プリンター機能で手差しトレイを使用する」を参照してください。
- ［基本設定］の［ブザー音］を［OFF］にすると、手差しトレイに用紙を差し込んだときに「ピッ」というブザー音が鳴りません。詳しくは、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

プリンター機能で手差しトレイを使用する

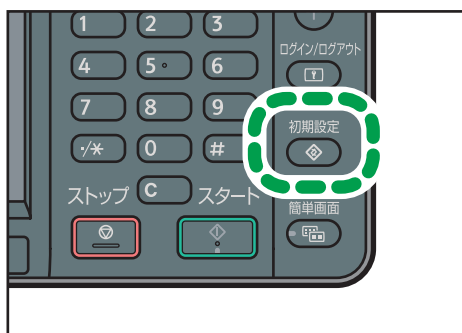
★ 重要

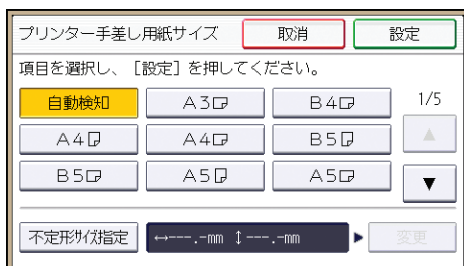
- **［プリンター初期設定］の［システム設定］の［トレイ設定選択］で、［手差しトレイ］を［機器側設定優先］に設定すると、プリンタードライバーでの設定よりも、本機の操作部での設定が優先されます。詳しくは、『プリンター』「システム設定」を参照してください。**
- **工場出荷時、［トレイ設定選択］の［手差しトレイ］は［ドライバー/コマンド優先］に設定されています。**

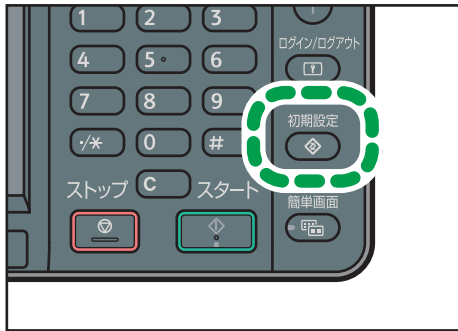
補足

- ここで設定した内容は、次に設定し直すまで有効です。
- パソコンから印刷する方法は、『プリンター』「印刷する」を参照してください。
- 工場出荷時、［用紙設定］の［プリンター手差し用紙サイズ］は［自動検知］に設定されています。

定形の用紙サイズを設定する

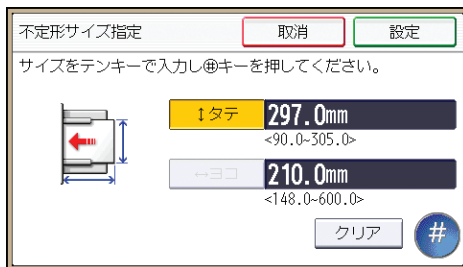
1. ［初期設定］キーを押します。

CSP003

2. ［用紙設定］を押します。
3. ［▼］を押します。
4. ［プリンター手差し用紙サイズ］を押します。
5. 用紙サイズを選択します。

6. ［設定］を押します。
7. ［初期設定］キーを押します。

不定形の用紙サイズを設定する

1. [初期設定] キーを押します。

CSP003

2. [用紙設定] を押します。
3. [▼] を押します。
4. [プリンター手差し用紙サイズ] を押します。
5. [不定形サイズ指定] を押します。

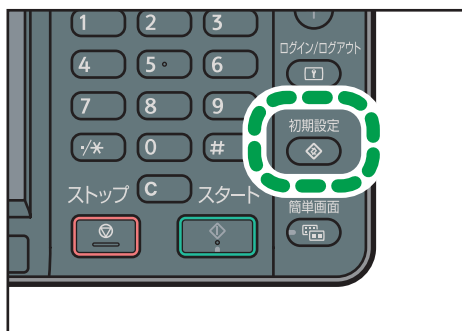
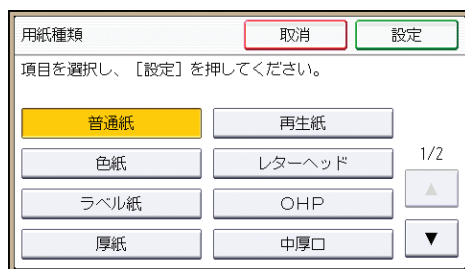
   不定形サイズがすでに設定されているときは、[変更] を押します。
6. [タテ] を押します。
7. テンキーで「タテ」の寸法を入力し、[#] を押します。

8. [ヨコ] を押します。
9. テンキーで「ヨコ」の寸法を入力し、[#] を押します。
10. [設定] を 2 回押します。
11. [初期設定] キーを押します。

用紙種類に厚紙、薄紙、OHP フィルムを設定する

重要

- OHP フィルムに印刷するときは、必ず A4▭をセットし、用紙サイズを選択してください。

- OHP フィルムは印刷面が決まっています。印刷面を確認してセットしてください。
- OHP フィルムに印刷するときは、印刷された OHP フィルムを 1 枚ずつ取り除いてください。

1. [初期設定] キーを押します。

2. [用紙設定] を押します。
3. [▼] を押します。
4. [プリンター手差し用紙サイズ] を押し、用紙サイズを設定します。
5. [設定] を押します。
6. [用紙種類設定：手差しトレイ] を押します。
7. [用紙種類] を押します。
8. セットする用紙の種類に応じて、適切な用紙種類を選択します。
    - 厚紙をセットするときは、[厚紙] を押します。
    - 薄紙をセットするときは、[薄紙] を押します。
    - OHP フィルムをセットするときは、[OHP] を押します。

9. [設定] を押します。

    OHP フィルムに印刷するときは、手順 11 に進みます。

10. 厚紙や薄紙に印刷するときは、[用紙厚さ] に設定した用紙の厚さが表示されていることを確認します。

11. [初期設定] キーを押します。

- 紙厚の用紙設定については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

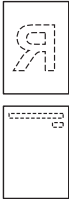
天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）

レターヘッド紙やビジネス用便箋など、天地の向きや表裏がある用紙は、正しく印刷されないことがあります。使用する機能に合わせて、初期設定を変更してください。また、原稿と用紙を正しくセットしてください。

初期設定の設定

［用紙設定］で使用する給紙トレイの［用紙種類設定］を［レターヘッド］に設定してください。

- コピー機能を使用するとき

  ［コピー/ドキュメントボックス初期設定］の［周辺設定］で、［レターヘッド紙使用設定］を［使用する］に設定してください。

- プリンター機能を使用するとき

  ［プリンター初期設定］の［システム設定］で、［レターヘッド紙使用設定］を［使用する（自動判定）］または［使用する（常時）］に設定してください。

［レターヘッド紙使用設定］については、『コピー/ドキュメントボックス』「コピー/ドキュメントボックス初期設定」、または『プリンター』「システム設定」を参照してください。

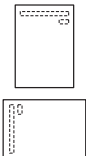
原稿と用紙のセット方向

使用しているアイコンの意味は次のとおりです。

アイコン	意味
R	読み取る面、印刷する面を上にセットしてください。
	読み取る面、印刷する面を下にセットしてください。

- 原稿のセット方法

原稿の方向	原稿ガラス	自動原稿送り装置（ADF）
読める方向		
読めない方向	• コピー機能のとき • スキャナー機能のとき	

- 用紙のセット方法
    - コピー機能を使用するとき

      原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットして天地の向きが決まった用紙にコピーするときは、用紙サイズを指定してください。

印刷面	給紙トレイ	手差しトレイ
片面時		
両面時		両面コピーはできません。

*1 原稿を自動原稿送り装置（ADF）にセットして、手差しトレイの用紙サイズを設定しないでコピーすると、画像の天地が逆にコピーされます。正しくコピーするには、用紙の天地を入れ替えてセットするか、用紙サイズを指定してください。

- プリンター機能を使用するとき

印刷面	給紙トレイ	手差しトレイ
片面時		

印刷面	給紙トレイ	手差しトレイ
両面時		両面印刷はできません。

2

補足

- コピー機能を使用するとき
  - 両面コピーの方法は、『コピー/ドキュメントボックス』「両面にコピーする」を参照してください。
- プリンター機能を使用するとき
  - ［レターヘッド紙印刷設定］を［使用する（自動判定)］に設定すると、プリンタードライバーの用紙種類が［レターヘッド付き用紙］のときにレターヘッド紙として印刷します。
  - 印刷の途中で片面印刷から両面印刷になったときは、1 部目と 2 部目以降で片面印刷の印刷面が異なることがあります。印刷面を同一にするには、片面印刷のページと両面印刷のページで給紙するトレイを分けて、片面印刷用の用紙を給紙するトレイは両面印刷不可の設定をしてください。
  - 両面印刷の方法は、『プリンター』「用紙の両面に印刷する」を参照してください。

3. 用紙サイズを変更する

用紙サイズを変更する方法を説明します。

用紙サイズを変更するときの注意事項

⚠注意

- 用紙（記録紙）を交換するときは、指を挟んだり、けがをしないように注意してください。

⚠注意

- 1 段給紙テーブルまたは 2 段給紙テーブルを接続している状態で、用紙を交換したり補給したりするときや、紙づまりを取り除くときは、一度に複数のトレイを開けないでください。本体上部を無理に押すなどの力が加わると、機械が倒れるおそれがあり、けがの原因になります。

重要

- **用紙は、給紙トレイ内に示された上限表示を超えないようにセットしてください。**

補足

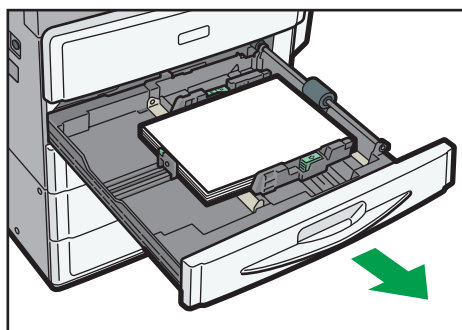
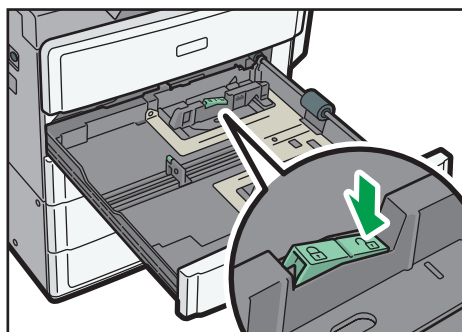
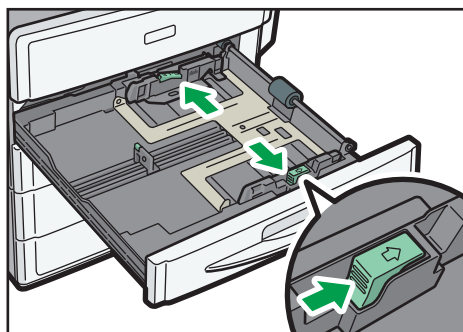
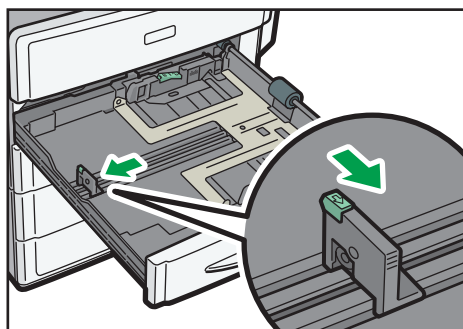
- 自動検知しないサイズの用紙をセットしたときは、［用紙設定］で用紙サイズを正しく変更してください。用紙がつまることがあります。用紙サイズの設定方法は、P.29「自動検知されないサイズの用紙をセットする」を参照してください。
- 複数枚の用紙が重なったまま一度に送られないように、用紙をパラパラとほぐしてからセットしてください。
- カールしている用紙、そりのある用紙は直してからセットしてください。
- セットできる用紙サイズ、種類は、P.31「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

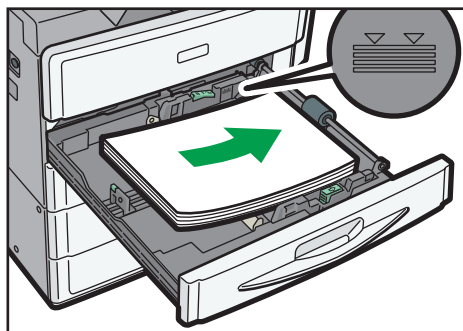
給紙トレイの用紙サイズを変更する

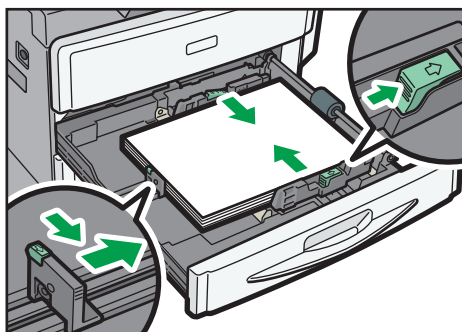
用紙サイズを変更する方法は各トレイとも同じです。ここでは、トレイ 1 の用紙サイズを変更する方法を例に説明します。

重要

- 用紙の先端が右側にそろっていることを確認してください。
- サイドフェンスを用紙幅にすき間なく押し当てた状態で、ロックボタンを押してサイドフェンスを固定してください。用紙とサイドフェンスの間にすき間があると、画像がずれることがあります。
- 給紙トレイを戻すときに勢いよく押し込むと、トレイのサイドフェンスの位置がずれることがあります。
- セットした用紙の枚数が少ないときは、サイドフェンスを寄せすぎないでください。サイドフェンスを寄せすぎると、用紙の端が折れることや、用紙がつまることがあります。

1. 給紙トレイから用紙が給紙されていないことを確認し、給紙トレイをゆっくりと引き出します。

2. 用紙がセットされているときは取り出します。
3. サイドフェンスのロックを解除します。

4. サイドフェンスの解除レバーを押しながらサイドフェンスを広げます。

5. エンドフェンスの解除レバーを押しながらエンドフェンスを広げます。

6. 印刷する面を上にして、用紙をそろえてセットします。

上限表示を超えないようにしてください。

7. 解除レバーを押さえながら、サイドフェンスとエンドフェンスをセットした用紙サイズに合わせます。

サイドフェンスやエンドフェンスと用紙の間にすき間ができないようにしてください。

8. サイドフェンスをロックします。

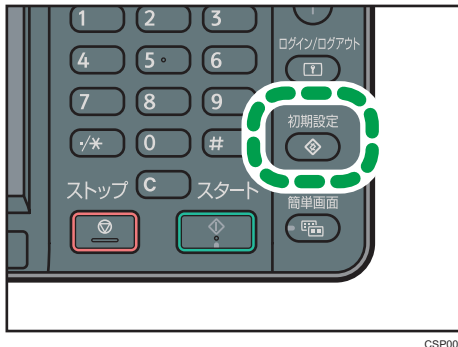
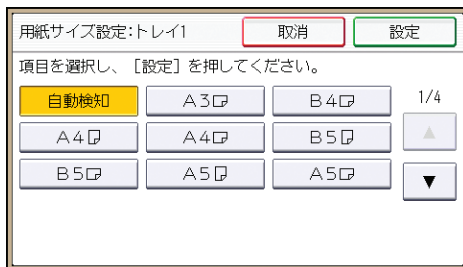
9. 給紙トレイをゆっくりと奥まで押し込みます。

補足

- 給紙トレイを押し込んだあと、用紙サイズが正しく変更されたことをコピー初期画面で確認してください。コピー初期画面を表示するには、［ホーム］キーを押してから［コピー］アイコンを押してください。

自動検知されないサイズの用紙をセットする

自動検知されないサイズの用紙をセットするときは、操作部で用紙サイズを設定してください。

1. ［初期設定］キーを押します。

2. ［用紙設定］を押します。
3. ［用紙サイズ設定：トレイ 1］～［用紙サイズ設定：トレイ 4］から、用紙サイズを設定するトレイを選択します。
4. セットした用紙サイズを選択して、［設定］を押します。

5. ［初期設定］キーを押します。

補足

- 自動検知される用紙サイズについては、P.31「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
- サイズが自動検知されない用紙で印刷したあと、自動検知される用紙で印刷するときは、自動検知の設定に戻してください。用紙をセットし直してから手順 4 まで進み、［自動検知］を選択して［設定］を押すと、自動検知の設定に戻ります。

4. セットできる用紙

各トレイにセットできる用紙のサイズと種類、使用できない用紙、用紙の保管方法を説明します。

セットできる用紙サイズ、種類

各トレイにセットできる用紙の種類、サイズ、枚数について説明します。

重要

- **湿気や乾燥によってそっている用紙を使用すると、用紙がつまることがあります。**
- **インクジェット専用紙、ジェルジェット専用紙はセットしないでください。故障の原因となります。**
- **OHP フィルムをセットするときは、表裏を誤らないように注意してください。故障の原因となります。**

RICOH MP 1601 シリーズのトレイ 1～2、RICOH MP 1301 シリーズのトレイ 1

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙 普通紙～中厚口 60～105g/m^2 (52～90kg)	• 自動検知される用紙サイズ： A3、A4、A5、B4、B5、 8$^1/_2$×11 • 初期設定で用紙サイズの設定が必要： 11×17、8$^1/_2$×14、8$^1/_2$×13、 8$^1/_2$×11、8$^1/_4$×14、8$^1/_4$×13、 8×13、8×10$^1/_2$、8×10、 7$^1/_4$×10$^1/_2$、5$^1/_2$×8$^1/_2$、8K、 16K、11×15、11×14、10× 15、10×14 • 不定形サイズ*1： タテ：182.0～297.0mm、ヨコ：152.0～432.0mm	290 枚

*1 タテの長さが 279mm を超える用紙をセットするときは、ヨコの長さが 420mm 以下の用紙を使用してください。

1 段給紙テーブル、2 段給紙テーブル

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
普通上質紙 普通紙～中厚口 60～105g/m^2 （52～90kg）	• 自動検知される用紙サイズ： A3▭、A4▯▭、A5▯、B4▭、B5▯▭、$8^{1}/_{2}$×11▭ • 初期設定で用紙サイズの設定が必要： A5▭、B6▭、11×17▭、$8^{1}/_{2}$×14▭、$8^{1}/_{2}$×13▭、$8^{1}/_{2}$×11▯、$8^{1}/_{4}$×14▭、$8^{1}/_{4}$×13▭、8×13▭、8×$10^{1}/_{2}$▯▭、8×10▯▭、$7^{1}/_{4}$×$10^{1}/_{2}$▯▭、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$▭、8K▭、16K▯▭、11×15▭、11×14▭、10×15▭、10×14▭ • 不定形サイズ*1： タテ：182.0～297.0mm、ヨコ：148.0～432.0mm	570 枚

*1 タテの長さが 279mm を超える用紙をセットするときは、ヨコの長さが 420mm 以下の用紙を使用してください。

手差しトレイ

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
薄紙、普通上質紙、厚紙 薄紙～厚紙 52～162g/m^2 （45～139kg）	• 自動検知される用紙サイズ： A3▭、A4▯▭、A5▯▭、B4▭、B5▯▭、B6▭ • 用紙サイズの設定が必要*1： A6▭、11×17▭、$8^{1}/_{2}$×14▭、$8^{1}/_{2}$×13▭、$8^{1}/_{2}$×11▯▭、$8^{1}/_{4}$×14▭、$8^{1}/_{4}$×13▭、8×13▭、8×$10^{1}/_{2}$▯▭、8×10▯▭、$7^{1}/_{4}$×$10^{1}/_{2}$▯▭、$5^{1}/_{2}$×$8^{1}/_{2}$▯▭、8K▭、16K▯▭、12×18▭、11×15▭、11×14▭、10×15▭、10×14▭ • 不定形サイズ*2、*3： タテ 90.0～305.0mm、ヨコ 148.0～600.0mm	普通紙：110 枚 薄紙、厚紙：*4
トレーシングペーパー （第二原図用紙）	A3▭、A4▭、B4▭、B5▭	100 枚
OHP フィルム	A4▭	10 枚
はがき	自動検知される用紙サイズ：郵便ハガキ▭、往復ハガキ▭	40 枚
封筒	自動検知される用紙サイズ：洋形 2 号封筒▭、長形 3 号封筒▭、長形 4 号封筒▭、洋長 3 号封筒▭、洋形 4 号封筒▭、角形 2 号封筒▭	*5

セットできる種類	セットできる用紙サイズ	セットできる枚数
ラベル紙（ハクリ紙）	A4、B4	1 枚

*1 用紙サイズを選択してください。コピー機能を使用するときは、『コピー/ドキュメントボックス』「手差しトレイから定形サイズの用紙にコピーする」を参照してください。プリンター機能を使用するときは、P.18「定形の用紙サイズを設定する」を参照してください。

*2 用紙サイズを入力してください。コピー機能を使用するときは、『コピー/ドキュメントボックス』「手差しトレイから不定形サイズの用紙にコピーする」を参照してください。プリンター機能を使用するときは、P.19「不定形の用紙サイズを設定する」を参照してください。

*3 ヨコの長さが 433mm 以上の用紙をセットするときは、タテの長さが 297mm 以下の用紙を使用してください。ただし、ヨコの長さが 433mm 以上の用紙を使用すると、しわができたり、用紙が送られなかったり、紙づまりが起きたりすることがあります。

*4 厚紙や薄紙は、上限表示を超えないようにセットしてください。紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。

*5 封筒を手差しトレイに置いて手を離した状態で、上限表示を超えない枚数をセットしてください。

用紙厚さについて*1

用紙厚さの定義は、以下のとおりです。

用紙厚さ	最小用紙紙厚	最大用紙紙厚
薄紙*2	52g/m^2（45kg）	59g/m^2（51kg）
普通紙 1	60g/m^2（52kg）	74g/m^2（63kg）
普通紙 2	75g/m^2（64kg）	81g/m^2（70kg）
中厚口	82g/m^2（70kg）	105g/m^2（90kg）
厚紙	106g/m^2（91kg）	162g/m^2（139kg）

*1 最小用紙紙厚または最大用紙紙厚に近い厚さの用紙を使用すると、印刷結果が不適切になることがあります。そのときは、用紙厚さを薄めまたは厚めの設定に切り替えて印刷してください。

*2 薄紙を使用するとき、用紙の種類によっては、用紙の端が折れることや用紙がつまることがあります。

［普通紙 1］、［普通紙 2］について

［用紙設定］で各トレイの用紙種類設定を［普通紙］に設定したときの工場出荷時の設定は［普通紙 1］です。

紙厚が 75〜81g/m^2（64〜70kg）の用紙をセットするときは、［調整/管理］の［普通紙設定］で［普通紙 2］を使用するトレイに設定してください。

設定方法は、P.41「普通紙設定」を参照してください。

4

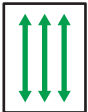
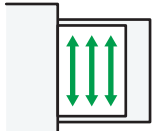
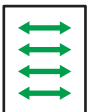
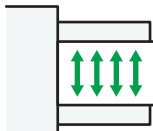
[特殊紙] について

用紙の用途に合わせて条件を設定できます。

利用するときは、あらかじめサービス実施店に連絡してください。

補足

- 次のような用紙を使用すると用紙をさばく音が発生することがありますが、品質には影響ありません。
  - ツルツルすべる用紙
  - OHP フィルム
  - トレーシングペーパー（第二原図用紙）
  - 郵便はがき
- 普通上質紙のセット枚数は、「マイペーパー」を使用したときのものです。
- 用紙をセットするときは、上限表示を超えないようにしてください。紙厚や用紙の状態により、セットできる枚数は異なります。
- 用紙が重なって送られるときは、用紙をさばいてセットするか、手差しトレイに 1 枚ずつセットしてください。
- 用紙はできるだけ当社製品を使用してください。用紙の厚さが適当であれば市販されているものを使用できます。「マイペーパー」程度のものが最適です。
- カールやそりがあるときは矯正してからセットしてください。
- 用紙のサイズや種類によっては、印刷速度が遅くなることがあります。
- 厚紙（106〜162g/m^2（91〜139kg））をセットするときは、P.35「厚紙」を参照してください。
- 封筒をセットするときは、P.36「封筒」を参照してください。
- はがきをセットするときは、P.38「はがき」を参照してください。
- レターヘッド紙を使用するときは、機能によって用紙のセット方向や向きが異なります。詳しくは、P.22「天地の向き・表裏のある用紙（レターヘッド紙）」を参照してください。
- 同じサイズ、同じ種類の用紙が複数の給紙トレイにセットされていると、コピー中に用紙がなくなったとき、手差しトレイ以外の給紙トレイから自動的に続けて給紙できます。これを「リミットレス給紙」といいます。大量にコピーするときでも、用紙補給でコピーが中断されません。給紙トレイの用紙種類は、[用紙種類設定：トレイ 1] 〜 [用紙種類設定：トレイ 4] で設定できます。『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。「リミットレス給紙」については、『コピー/ドキュメントボックス』「基本コピー設定」を参照してください。
- ラベル紙（ハクリ紙）をセットするとき
  - ラベル紙（ハクリ紙）のセット枚数は「リコー PPC 用紙タイプ SA」を使用したときのものです。

- ラベル紙（ハクリ紙）は当社製品をお勧めします。指定以外の用紙を使用したときは、正常な動作および品質の保証ができません。
  - なるべく 1 枚ずつセットしてください。
  - ［手差し］を押し、「手差し用紙設定」画面で［用紙種類］を押したあと［厚紙］を選択してください。
- OHP フィルムをセットするとき
  - なるべく 1 枚ずつセットしてください。
  - OHP フィルムは当社製品をお勧めします。指定以外の用紙を使用したときは、正常な動作および品質の保証ができません。
  - OHP フィルムにコピーするときは、『コピー/ドキュメントボックス』「OHP フィルムにコピーする」を参照してください。
  - パソコンから OHP フィルムに印刷するときは、P.19「用紙種類に厚紙、薄紙、OHP フィルムを設定する」を参照してください。
  - さばいてからセットしてください。トレイにセットしたまま放置すると、密着して用紙送りを妨げる原因になります。
  - 出てきた出力紙は 1 枚ずつ取り除いてください。
- トレーシングペーパー（第二原図用紙）をセットするとき
  - なるべく 1 枚ずつセットしてください。
  - トレーシングペーパー（第二原図用紙）のセット枚数は、「リコー PPC 用紙 タイプ TA」を使用したときのものです。
  - トレーシングペーパー（第二原図用紙）は、縦目通紙で使用してください。用紙には繊維の流れる方向（すき目）によって、縦目（T 目）と横目（Y 目）があります。用紙は推奨すき目にしたがってセットします。
  - 湿気を吸うとカールしやすいため、カールが大きいときは矯正してからセットしてください。

厚紙

厚紙をセットするときの推奨条件について説明します。

紙厚が 106～162g/m^2（91～139kg）の用紙をセットするときは、以下の推奨条件で使用してください。推奨条件以外で使用すると、紙づまりの原因になることや印刷品質に影響が出ることがあります。

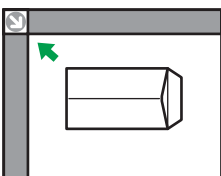
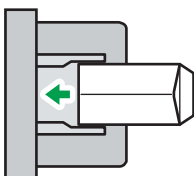
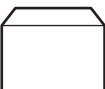
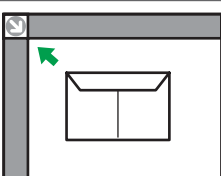
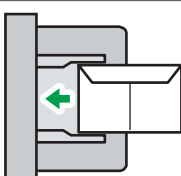
- 表面が滑らかな厚紙を使用するときは、印刷のたびに用紙をさばいてからセットしてください。紙づまりが発生することや用紙が重なって送られることがあります。用紙をさばいてからセットしても用紙が正しく送られないときは、1 枚ずつ用紙をセットしてください。

- 用紙には繊維の流れる方向（すき目）によって、縦目（T 目）と横目（Y 目）があります。用紙のすき目にしたがって次のようにセットしてください。

補足

- ［用紙設定］で手差しトレイの用紙種類に［厚紙］を設定してください。
- 推奨条件で使用したときでも、用紙によっては正常な動作および品質の保証ができないことがあります。
- 用紙に縦すじ（折れ癖）が目立つことがあります。
- 印刷後のカールが大きいことがあります。そのときは矯正してください。

封筒

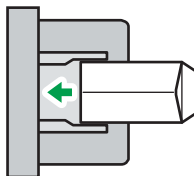
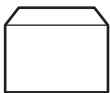
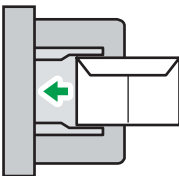
封筒をセットするときの推奨条件について説明します。

重要

- **窓付き封筒は使用しないでください。**
- **のり付き封筒は、のりで封筒同士が貼りつくことがあります。さばいてからセットしてください。封筒同士が貼りつくときは、1 枚ずつセットしてください。**
- **封筒のフラップ（ふた）の長さや形状によっては紙づまりが起こることがあります。**
- **封筒のフラップ（ふた）を開いてセットするときは、用紙が正しく送られるように、封筒のフラップ（ふた）を完全に開いた状態でセットしてください。**
- **封筒を押さえて中の空気を抜き、四辺の折り目をしっかりと押さえてからセットしてください。また封筒がそっているときや曲がっているときは、鉛筆や定規でしごいてまっすぐに直してからセットしてください。**
- **封筒は上限表示を超えないようにセットしてください。無理に多めの枚数をセットすると、紙づまりの原因になります。**

コピー機能を使用するとき

封筒の形やセットする向きによって、原稿ガラスやトレイにセットする方法が異なります。封筒にコピーするときは、次のようにセットしてください。

封筒をセットする方法

封筒の種類と向き	原稿ガラス	手差しトレイ
角形/長形封筒	• フラップ：開く • 封筒の下辺：左側 • 読み取り面：下	• フラップ：開く • 封筒の下辺：左側 • 印刷面：下
洋形/洋長形封筒	• フラップ：閉じる • 封筒の下辺：手前側 • 読み取り面：下	• フラップ：閉じる • 封筒の下辺：手前側 • 印刷面：下

封筒をセットしたあと、用紙のサイズと種類を設定してください。『コピー/ドキュメントボックス』「封筒にコピーする」を参照してください。

プリンター機能を使用するとき

封筒の形やセットする向きによって、トレイにセットする方法が異なります。封筒に印刷するときは、次のようにセットしてください。

封筒をセットする方法

封筒の種類と向き	手差しトレイ
角形/長形封筒	• フラップ：開く • 封筒の下辺：左側 • 印刷面：下

封筒の種類と向き	手差しトレイ
洋形/洋長形封筒	• フラップ：閉じる • 封筒の下辺：手前側 • 印刷面：下

封筒をセットしたあと、プリンタードライバーと操作部の両方で、用紙の種類を「封筒」に設定してください。また、用紙の厚さを設定してください。『プリンター』「はがき、封筒に印刷する」を参照してください。

使用できる封筒

使用できる封筒については、リコーホームページ（http://www.ricoh.co.jp）を確認するか、販売店・サービス実施店に問い合わせてください。

セットできる封筒サイズについて、詳しくは、P.31「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。

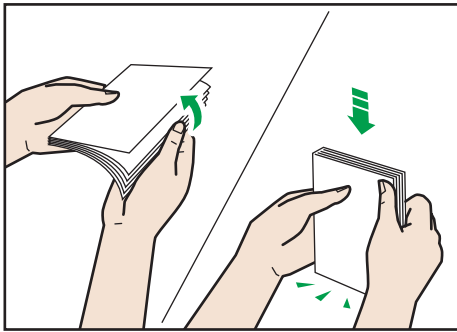
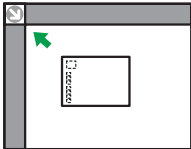
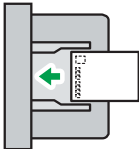
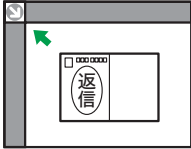
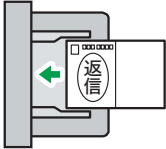
補足

- 一度にセットする封筒は、同じサイズ、同じ用紙種類の封筒にしてください。
- 出力品質を保つため、上下左右の余白はそれぞれ 10mm 以上になるようにしてください。
- 周囲と異なる厚みの部分があると、均一に印刷できないことがあります。2、3 枚通紙して、印刷結果を確認してください。
- 印刷後、封筒が大きくカールしたときは、しごいて直してください。
- 湿気を吸った封筒は使用しないでください。
- 室温が高いところや湿気の多いところで印刷すると、うまく印刷されないことや封筒にしわができることがあります。
- 推奨封筒または推奨封筒以外を使用しても、環境によってはしわが発生するなど、正しく印刷されないことがあります。
- 場合によっては、封筒の長辺の端に細かいしわができて排紙されたり、裏面が汚れて排紙されたり、ぼやけて印刷されたりします。また黒くベタ刷りするときに、封筒の用紙が重なりあっている部分にすじが入ることがあります。

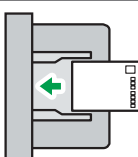
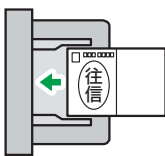
はがき

はがきをセットするときの推奨条件について説明します。

重要

- 市販のはがきをセットできます。
- 往復はがきは折り目のないものを使用してください。
- 用紙がカールしていると、紙づまりの原因になったり、印刷品質に影響が出たりします。カールを直してから用紙をセットしてください。
- はがきをセットするときは、パラパラとほぐしてから端をそろえてください。

CJV001

コピー機能を使用するとき

はがきの種類と向きによって、原稿ガラスやトレイにセットする方法が異なります。はがきにコピーするときは、次のようにセットしてください。

はがきをセットする方法

はがきの種類と向き	原稿ガラス	手差しトレイ
郵便はがき	• はがきの下辺：右側 • 読み取り面：下	• はがきの下辺：右側 • 印刷面：下
往復はがき	• はがきの下辺：手前側 • 読み取り面：下	• はがきの下辺：手前側 • 印刷面：下

はがきをセットしたあと、用紙のサイズと種類を設定してください。『コピー/ドキュメントボックス』「はがきにコピーする」を参照してください。

プリンター機能を使用するとき

はがきの種類と向きによって、トレイにセットする方法が異なります。はがきに印刷するときは、次のようにセットしてください。

はがきをセットする方法

はがきの種類と向き	手差しトレイ
郵便はがき	• はがきの下辺：左側 • 印刷面：下
往復はがき	• はがきの下辺：手前側 • 印刷面：下

はがきをセットしたあと、用紙のサイズと種類を設定してください。『プリンター』「はがき、封筒に印刷する」を参照してください。

補足

- はがきの用紙の厚さは［厚紙］をお勧めします。使用するはがきの用紙厚さに合わせて設定を変更してください。それぞれの設定の用紙厚さについては、P.31「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。
- なるべく 1 枚ずつセットしてください。

普通紙設定

セットする普通紙の種類として、紙の厚さにより［普通紙 1］、［普通紙 2］のどちらかを選択します。

工場出荷時は［普通紙 1］に設定されています。

- ［普通紙 1］は 60〜74g/m^2（52〜63kg）の用紙をセットするときに設定します。
- ［普通紙 2］は 75〜81g/m^2（64〜70kg）の用紙をセットするときに設定します。

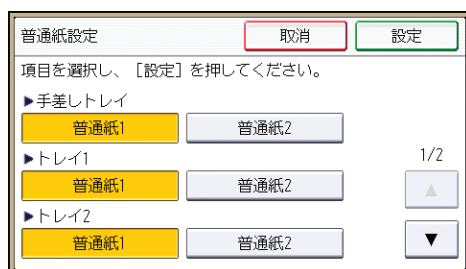
1. ［初期設定］キーを押します。

CSP003

2. ［▼］を押します。

3. ［調整/管理］を押します。

4. ［普通紙設定］を押します。

5. セットする用紙に合わせて、各トレイの普通紙の種類を選択し、［設定］を押します。

6. ［初期設定］キーを押します。

- ［用紙設定］で、各トレイにセットする用紙の厚さを設定できます。用紙の厚さについては、P.31「セットできる用紙サイズ、種類」を参照してください。［用紙設定］については、『ネットワークの接続/システム初期設定』「システム初期設定」を参照してください。

使用できない用紙

⚠注意

- ステープラーの針がついたままの用紙や銀紙、カーボン含有紙等の導電性の用紙は使用しないでください。火災の原因になります。

重要

- 次のような表面が加工された用紙は使用しないでください。故障の原因になります。
    - インクジェット専用紙/ジェルジェット専用紙
    - 感熱紙
    - アート紙
    - 銀紙
    - カーボン紙
    - 導電性の用紙
    - カラー用 OHP 用紙
    - ミシンがけ用紙
    - ふちどり用紙
    - インデックス紙
    - 窓付き封筒
- 一度印刷した面に重ねてコピーや印刷をしないでください。故障の原因になります。

補足

- 次の用紙はセットしないでください。紙づまりが発生することがあります。
    - そり、折れ、しわのある用紙
    - 穴があいている用紙
    - ツルツルすべる用紙
    - 破れのある用紙
    - すべりにくい用紙
    - 薄くてやわらかい用紙
    - 表面に紙粉が多い用紙
- 推奨用紙を使用したときでも、用紙の状態によっては紙づまりが発生することがあります。
- 目の粗いまたは凹凸のある用紙に印刷すると画像がかすれることがあります。
- 本機以外で一度コピーまたは印字された用紙は再使用しないでください。用紙の保管状態によっては、紙づまりなどが発生することがあります。

- 絵入りのはがきなどを給紙すると、絵柄裏写り防止用の粉が給紙ローラーに付着し、給紙できなくなることがあります。

用紙の保管

- 用紙の保管には、次の注意を守ってください。
    - 直射日光の当たらないところに置いてください。
    - 湿度 70%以下の乾燥したところに置いてください。
    - 平らなところに置いてください。
    - 用紙は立てかけないでください。
- 一度開封した用紙は湿気を吸わないようにポリ袋に入れてください。